

# 「Web ブラウザで読むカラーマンガ」

マンガ学科 木寺良一 Yoshikazu Kidera



デジタル表現研究室の研究テーマの一つである学習マンガの試みとして制作した教材用の作品。その表現は通常のマンガとは異なり、2005年頃にWEBを中心に登場したFlashマンガの様式を用いている。Flashマンガは表示媒体を本・雑誌からディスプレイへ移行したことで、それまでの本と印刷技術の上で形成されてきたマンガとは異なる表現形式を生み出した。しかし、マンガは本・雑誌が主流でありPCのディスプレイで読むFlashマンガが一つのジャンルとして定着するには至らなかった。

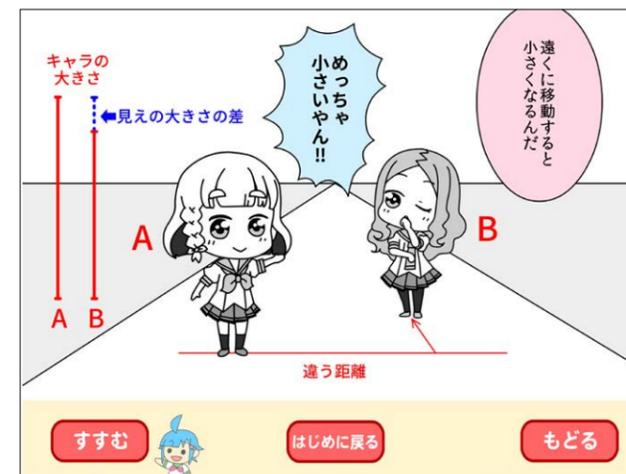
見開きのページにコマを並置することで画面を構成し、読むために高度なリテラシーを要する本・雑誌のマンガと比較して、読む順序やタイミングを任意に提示できるFlashマンガは容易に読むことが可能である。また、カラーやアニメーション、音などの要素も含むことができるため学習マンガや広告などへの展開を提案している。



「キラとマリアのはじめてのマンガ教室」



1972年大阪生まれ。1996年京都精華大学造形学部洋画学科卒業。マンガ学科のデジタル表現研究室を担当。当研究室ではリッチマンガや学習マンガについての研究を行う。代表作『マンガでわかるキラとマリアの背景が描きたい!』シリーズ(マール社)、『珈琲一杯の元気』原作:岡希太郎(医薬経済社)など



強調色を用いた解説



アニメーションを用いた解説